

「大東岳」

2019年9月2~3日(月・火)

山名 大東岳(H1.365m)

参加者 秋葉、下山田、馬場、栗崎(透)、栗崎(容) 計5名

時間 1日目 登山口 9:30 ---- 山頂 14:05 ---- 避難小屋 15:55

2日目 避難小屋 7:20 ---- 登山口 10:30

宮城県の蔵王連峰の北、仙台市秋保の二口(ふたくち)山塊の大東岳を訪れた。

空は雲が重く芳しくなかったが、樋の沢(とよのさわ)避難小屋にたどり着く午後3時ごろまではなんとか持ちそうな天気予報だった。

ところが、二口の登山口から登り始めて間もなく、雨が落ちてきた。

しばらくは、小行沢(こなめさわ)沿いの植林された暗い杉林の中を歩く。樹林帯の中は雨もそれほど届かないので、雨具を着ないで黙々と歩く。その後、雨脚が強まり、雨具を着た。

合目を示す立派な御影石の墓石のような石柱が置かれているがそれが五合目を示すと尾根に出る。

尾根道を進むと、ブナ林の綺麗なこぶし平にでた。

この辺りは、大東岳の山頂が前方に望まれるところらしいが、周りは真っ白で、雨はさらに強くなってきた。

この先は鼻こすりと言われる標高差100mの急登で、結構藪っぽい。全身ずぶ濡れになりながらも、傾斜が緩やかになると標識と祠がある大東岳山頂に到達した。

仙台市街や仙台港、月山や鳥海山まで見えるらしいが、目の前の山々さえ、いや、これから歩く登山道さえ、白くけびっていて、ハッキリとしない。



長居は無用。今日のお宿に向かおう。



しかし、弥吉転ばしと言われる 150m の急降下が待っている。

雨で道も滑り、転んだ人もいた。急斜面が終わりホッとしたのもつかの間、足場の悪い沢を下る。

地図からは読み取れない、悪路の連続と雨で疲れ切った頃、小屋に到着した。

貸切の小屋で、明日の天気を期待してガッツリ飲んで、食べて就寝。



翌朝、曇りだが空は高い。朝食は秋葉さんが担当。米から炊いたあさり炊き込みご飯がえらいうまい。これは、この後もお願いしたい美味しい朝食だった。

下山は太行沢(おおなめさわ)



沿いに、いくつもの滝を眺めながらの緩やかな道。

しかし、歩きづらくコースタイムを大幅に遅れ、3時間ほどかかって昨日歩き始めた、二口に下山した。

この山行が決まった時には、どこにある山かも知らずに、二口山塊を調べてからも舐めてかかっていましたが、険しく、おもしろい山でした。天気の良い日に再訪し小東岳や糸岳にも足を伸ばしたくなりました。

(文責 栗崎 透)

山行報告 船形山 1500.2m

2019年9月30～10月1日

栗崎透・容子、下山田安廣、秋葉信夫

船形山は宮城・山形の県境に位置し宮城県側では船形山、山形県側では御所山と呼ばれる「ブナの巨木の山である。日帰りでも登れるがあえて1泊し、贅沢な山旅を味わった。

9月30日（月） 升沢コースへ 移動（約2時間30分） 行動時間6時間30分



旗坂キャンプ場の駐車場から林道を歩き始めると間もなく、升沢コース登山口の案内板と赤い下地に白字の丸い番号標識が掛

けてある。これは登山口が③で頂上の①まで続いている。旗坂平、一群平、鳴清水とブナ林の中を行く幅広い緩やかな登山道が実に気持ちが良い。時間は十分にあるので、休憩を取りながらノンビリと歩く。

三光の宮へは左側へ一寸登るが一気に展望が広がる。不動岩の鳥居で昼食とする。大滝口の分岐を分け、升沢小屋に着く。バイオトイレの綺麗な小屋で水場も近いので泊りには最適な小屋だ。あまりに気



持ちが良くベンチで休んでいるとウトウトしてしまった。

升沢小屋からは沢の中を辿る。水が取れる最後の場所でたっぷり水を汲む。ザックもずっしりと重くなった。涸れた沢

状の急な斜面を登りきると千丈敷。目的の頂上避難小屋も見えてきた。船形山、蛇ヶ岳、後白髭山等の紅葉の色取られた稜線が広がり思わず息を呑む美しさだ。



頂上からの展望は月山、黒伏山、翁山、蔵王、雁戸山、神室岳、大東岳、青麻山、仙台平野にポコポコと七ツ森、太平洋を望む。

頂上避難小屋は水がないので持ち上げなくてはならないが、一度は泊まってみたいと思っていた小屋だ。味噌ホルモン炒め、キムチ鍋、イカ軟骨とセルリの塩昆布漬け等でディナーを楽しむ。今夜は貸し切りだと思っていたら、一人の男性がやって来た。山の写真と野生動物のカメラマン、中マイケメンの青年で話が盛り上がる。星空と仙台平野の夜景が美しい。

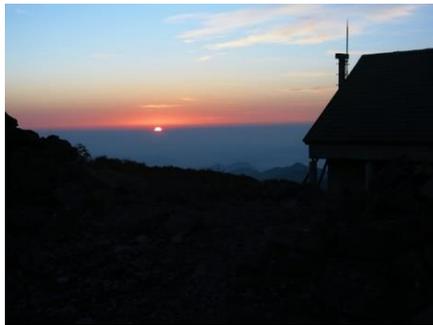
四倉道の駅 5:00⇒大和 IC⇒旗坂キャンプ場 7:30

旗坂キャンプ場 8:00⇒三光の宮 10:50⇒升沢小屋 12:15⇒頂上避難小屋 14:32

10月1日(火) 蛇ヶ岳(1400m)へて後白髪山(うしろしらびげやま 1442.5m)

行動時間6時間

以前、春に泉ヶ岳に登った時に、船形山の手前左側に白銀に輝くピラミダルな山が見えた。帰って調べてみると後白髪山であった。それ以来気になっていたが、日帰りだとそちらまで行く時間的余裕はない。今回は頂上泊なので足を伸ばすことにした。



蛇ヶ岳へは紅葉の稜線を歩く。升沢コース分岐に荷物をデポし後白髪山に向かう。藪がかかっているのを覚悟していたが思ったより良い苔むした道で気持ちよく歩くことできた。

後白髪山の山頂に立つと、振り返れば船形山～蛇ヶ岳、北泉ヶ岳、泉ヶ岳の稜線が紅葉に彩られ、月山や朝日連峰蔵王、仙台平野も見渡せる。往路を分岐まで戻り升沢コースを下山する。

大和町の総合福祉センターで入浴、帰路に着く。



船形山 6:40→蛇ヶ岳 7:40→後白髪山 8:35～45→蛇ヶ岳分岐 9:35～45→分岐 10:10→大滝口分岐 10:45→登山口 12:40